



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和4年3月29日
第430号



春風とともに新たな一歩を踏み出して!!

施設長 松永行弘



桜の花が咲く頃となりました。春寒も緩み始め、ようやく過ごしやすい気候になってきましたが、お変わりありませんでしょうか。

なかなか桜の季節を心から楽しめません。長引くコロナ禍、ロシアによる非人道的軍事侵攻、国際政治の荒波に翻弄された北京冬季パラリンピック、東日本大震災や熊本地震の大きな被害を思い起こし身を震わせた宮城・福島地震、成年被後見人の口座から不正に流用した弁護士等・・・このようないずれの出来事もとてもやりきれない思いが募ります。

2017年に熊本地震の復興支援として静岡県河津町が贈った河津桜が咲き始め、熊本電鉄のくまモンも紅色に染まった桜の花を楽しんでいるようでした。(上図)復興の桜が色めく中、理不尽な問題が収束の方向へ向かってほしいと願っています。

さて、前号の続きですが、政府は25日、「成年後見人の交代、柔軟化方針 必要時だけ利用 基本計画を閣議決定」(毎日新聞26日付)という記事に目を通しました。利用者の状況やニーズに応じて専門家や親族ら後見人の交代を柔軟に認め、必要な期間だけ利用できるような見直す方針が盛り込まれました。障がいのある子が「親なき後」も幸せに暮らせていけるように、安心できる解決策がでてくることを強く望みます。

最後になりますが、新年度に向け、新体制のもと健康には十分にご留意され、さらにご活躍されますことを祈念申し上げます。

【作業所の様子】

【農耕（ソラマメの土寄せと追肥、整枝）】



春の陽気を感じた作物がすくすくと育ち始めています。村上職員を中心に、利用者さんと運動公園近くの畑で栽培しています。他にもピーマン、ニンニク、タマネギ、ジャガイモなどを栽培しています。

【熊本市信書便集配】



大切な文書（信書）を区役所や出先機関に集配しています。毎日、利用者さんとドライバーの2人1組、車3台で、決められたコースを回っています。朝は他の人よりも早いですが、責任をもって頑張っています。4月からドライバー5人、利用者さん5人体制で業務に携わります。

【お知らせ】

私は、家庭の都合でやむなく退きますが、3月は朝の信書便、数種の業務引継ぎをしておりました。

- ・非常勤職員：藤原えりかさん（3/7より勤務）明るく、さっぱりとした性格で行動的です。
- ・常勤職員：廣野隼平さん（3/14より勤務）元気と笑顔がとても印象的です。
- ・非常勤職員：西田利弥さん（4/1より勤務）信書便のドライバーです。
- ・施設長：守尾祐一さん（4/1より勤務）

とても温厚な方で、利用者さん方もすぐに受け入れてくださることと思います。

新職員のみなさんは、3月からそれぞれの業務内容を確認され、新年度に向けて一生懸命頑張っています。これからも、第二ぎんなん作業所を変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。